

気になった本を読んでみるシリーズ

おうらんこいえまき
「桜嵐恋絵巻」を読んでみた

M「今回は出版から年数が経っているにもかかわらず、定期的に閉架書庫に呼び出しがかかる不思議ラノベ「桜嵐恋絵巻」を取り上げます！タイトルからして、何やらキラキラとしたトキメキの予感が・・・」

A「平安時代が舞台ですが、源氏物語のように派手な恋模様ではなく・・・」

F「貴族に生まれながら、諸事情により家族から虐げられ肩身の狭い2人がある日、桜の下で出会うんですね～」

M「満開の桜の下で見つめあう二人・・・。お約束的に素敵な出会いのシーンでしたねー。読んでみてどうでした？」

F「結構意外な設定だなと。裏表紙にあらすじが書いてあるんで、女の子の詞子^{ことこ}姫の可哀想な境遇は分かっていたんですが、まさか男の子の雅遠^{まさとお}くんまでもがあんな劣等感丸出しな主人公だったとは・・・！」

M「家は金持ち（左大臣家）なのに、仕事なし・歌才なし・顔も弟に劣るの三拍子」

A「最近のラノベは主人公が劣等生というパターンが多いんですが、これは出版が古いのでそういったタイプのラノベの先駆けみたいですね」

F「でもそういう劣等生主人公は、大抵隠された才能が後で開花するんですよ」

M「じゃ1巻ではまだパツとしないけど、この後雅遠くんは羽化するのかしら？」

A「あつという間に出世して、白馬(?)に乗って姫を迎えに・・・？」

F「さあ、どうでしょう～(笑)」(←実はネットで今後の展開を調査済みらしい)

M「でもさあ、雅遠くんは姫と出会ったとたん、結構積極的に通い詰めてて、その割にはなんか恋の展開がおっそいなあと
思ってたら、終盤でびっくりよね」

A「気づいてなかったんですね」

F「そう、気づいてなかったんです。この気持ちが恋であることに・・・！」

A「純粋男子ですよ～(*^_^*)」

M「純粋っていうか、大丈夫なの？この子？女子の部屋に連日押しかけて恋を自覚してないってヤバイでしょ」

F「そういう天然記念物的ウブな恋模様がこの作品のウリで人気の秘密なんですよってばっっ」

M「うぶう・・・？(疑)」

A「はい、ええっと、真相と展開が気になった方は全10巻完結しているので

読んでみてくださいね～(無理矢理締める)

深山くのえ著・藤間麗行挿 小学館 2008年



Fミヤ

ホンダラケ

H28.10.01.

日記もゆるりと更新中のごぞる
<http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

恋とキャンバラ!

やっとのことで夏も過ぎ、秋の気配がしてまいりました。「和」を感じるこの季節に「時代小説」および「歴史小説」を特集いたします。
時代物大好きなあなたも、読んだことがないあなたも、いざ!

さん
燦-1-

あさのあつこ:著 文藝春秋
F/アサ 2011年刊



燦。心のままに生きることを許された名だ。

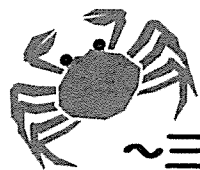
江戸から遠く離れた田鶴藩。ある時藩主が刺客に襲われた。家老の息子である吉倉伊月は刺客と剣を交える。恐ろしく腕の立つ謎の少年は神波の燦、と名乗った。以来燦のことが気になる伊月だったが・・・。“神波の一族”とはいったい何なのか。その秘密が二人の運命を変えていく。ストーリー展開のおもしろさもさることながら、とても読みやすい本です。時代小説は難しそう、と思っている人にもおすすめできます!

ホンダラケとは

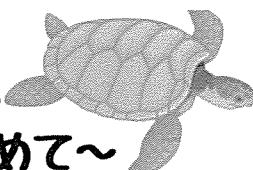
本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた
中高生向け小冊子です。

本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーで
ご覧いただけます。(もちろん、大人の方もお読みいただけます)

2か月に1度、年6回発行予定です。



青春読書記



～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「旅」とのこと。中学生・高校生にとっての「旅」って、どんなものなのかしら？ 今回も素敵なおすすめ本が届きましたよー。

「半島へ」

稲葉真弓：著 講談社 2011年刊

東京から半島へ。主人公が訪れた半島は、自然豊かな土地だった。主人公はその土地で色々な人に出会い、色々なことを教えてもらう。とある人の畑には亀や蟹がやってきて卵を産む。そこで生まれた亀や蟹の赤ちゃんは海がある場所を知らないはずなのに、海に向かって歩いていく。主人公はその話を聞いて感動した。

ぼくも亀と蟹の話聞いて感動しました。なぜなら、亀や蟹の赤ちゃんが生まれた場所は海ではなく、とある人の畑なのに、海の方に向かっていくからです。この本は、主人公の意外性のある行動や、亀や蟹の話のような、驚くような出来事が興味深いのが特徴です。是非読んでみて下さい。

半島へ 稲葉真弓

F/イナ

りさいくさ予備軍 ～なぜ貴族は借りてもらえぬのか～ 夢を追いかける

クリストファー・コロンブスの物語

ピーター・シズ作、吉田 悟郎訳 ほるぷ出版 1992年刊 726/シズ

アメリカ大陸を発見したコロンブスの生涯を書いた絵本です。まだほとんどの人が地球は平らな円盤だと思っていた頃。コロンブス少年はマルコ・ポーロの『東方見聞録』を読んで、黄金の島国ジパングや遠いアジアの国々を旅することを夢見ていました。コロンブスがアジアを探す大航海に出たのは1492年。辿りついたのはアメリカでしたが、死ぬまでそこはアジアだと思っていたそうです。当時ヨーロッパの人びとはアメリカや太平洋の存在を知らなかったからなのですね。緻密に書きこまれた絵はたくさん色が使われていて味わい深く、見ごたえがあります。コロンブスの夢の軌跡をいっしょに追ってみませんか？



新着本ぴゅっくあっぷ

百年後、ぼくらはここにいないけど

長江 優子：著 講談社 2016年刊



F/ナガ

内申点のため、活動内容がラクな地理歴史部に入部した健吾。しかし、熱血顧問の登場や突然の部長の転校など思いがけない事態が重なり、なんと部長として巨大な「百年前の渋谷」のジオラマ作成をすることに！ 最初は全然乗り気じゃなかった健吾ですが、徐々に百年前、そして自分がいない百年後に思いを馳せるようになり・・・ジオラマを通して成長していく健吾たちの姿は、スポーツものとはまた違った読みごたえがありますよ。

YA新着本

請求記号	タイトル	編者・作者名
140/16	高校生に知ってほしい心理学	宮本聡介・伊藤拓：編
369.1/16	社会福祉士の日	
F/ニシ	掟上今日子の家計簿	西尾維新
F/ミズ	教室の灯りは謎の色	水生大海

読みたくなる名作本コラム さぶ 山本周五郎

新潮文庫 2002年刊

同じ年のさぶと栄二は12歳の頃から一緒に表具屋で奉公中。手先が器用で何事も要領よくこなす栄二に対して、どっちかっていうと不器用でどんくさい部類のさぶ。職人としての技術も栄二は優れているのだが、ある日そんな栄二に盗みの疑惑がかけられ、無罪を訴えて暴れまわった栄二は人足寄場（微罪の人が入る職業訓練所みたいな所）に送られてしまう！人間不信ですっかりクサってしまった栄二のところにある日さぶがやってきて・・・。クサった栄二にブレない友情をひたすらぶつけるさぶ。切ない三角関係も含みながら、純粋で誠実な友情が描かれます。「親友だよな」なんていちいち言わなくていい友達の存在を証明してくれる作品です。



F/ヤマ